

ベトナムに駐在事務所

昭和興産、現地密着で拡販

【バンコク＝岩崎淳二】昭和興産は、ベトナムのホーチミンに駐在員事務所を新設する。2020年から活動を開始する見込み。製造業の工場新増設が相次ぐ同国で、現地の情報収集などによつ

て顧客ニーズに迅速に対応していく。東南アジアではタイとインドネシアに続く拠点で、経済成長著しい市場に進出し攻勢をかける。タイ現地法人昭和興産タイランドの駐在員事務

所としてホーチミンにオフィスを20年1月に開設する予定。ベトナムは、米中貿易戦争の激化などを背景に中国からの生産拠点移管の動きもあり、今後さらに進出する企業の増加が期待される。拠

点を設けて、現地密着型の活動を展開し、商材の拡販につなげる。昭和興産タイランドが支援しながら、主要商材である化学品、合成樹脂関連の顧客に対してマーケティングを強化する。

また、エレクトロニクス部門でも新規進出などに迅速に対応する。昭和興産は、20年度を最終年とする現中期経営計画で、海外での事業拡充と営業力強化を戦略の一つに設定している。現状、海外はタイとインドネシアのほか、中国・上海に現地法人を、中国・広州に上海現法の分公司を持つ。

東南アジアのなかでも

潜在的な市場成長が見込めるインドシナはタイを基点に展開を加速する。体制を整備して拡大する需要を取り込んでいく。